

〔7〕 松本地域の発展方向

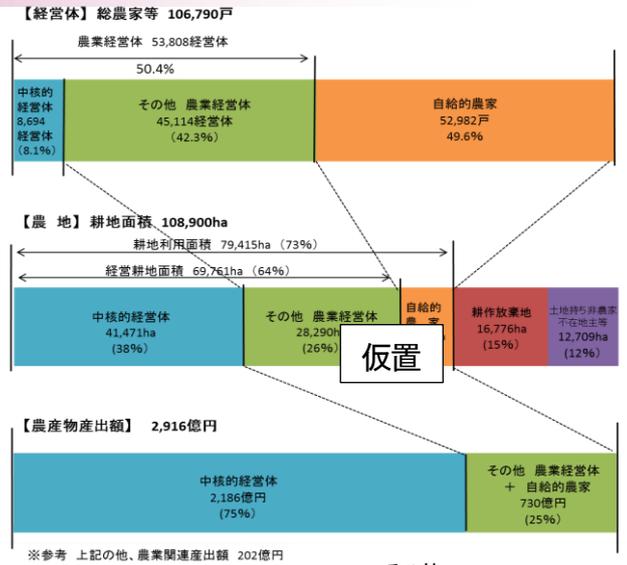
松本市・塩尻市・安曇野市・麻績村・生坂村
山形村・朝日村・筑北村

〔 各地域ごとの基本目標を記載（検討中） 〕

農業・農村の特徴

- ・当地域は、多様で豊かな自然や風土と、大消費地に比較的近い立地を活かして農業が展開されています。
- ・水田地帯では、豊かな用水を活用し、水稻とともに、麦・大豆等が生産され、大規模な農業法人・集落営農組織も育っています。
- ・畑作地帯では、灌漑用水を活用して、葉野菜のほか、ながいも・スイカ等の特産野菜、りんご・ぶどう等の果樹など、県内屈指の産地が築かれています。
- ・乳・肉・卵などの畜産や、信州サーモンなどの養殖業も盛んで、近年は夏秋いちごやワイン用ぶどうなどの生産も増加しています。
- ・農業者の約7割が65歳以上と高齢化が進み、地域農業を継承する仕組みづくりが課題となっています。

【平成27年】(2,015農林業センサスより推計)



めざす姿

I 産業としての農業の振興（仮）

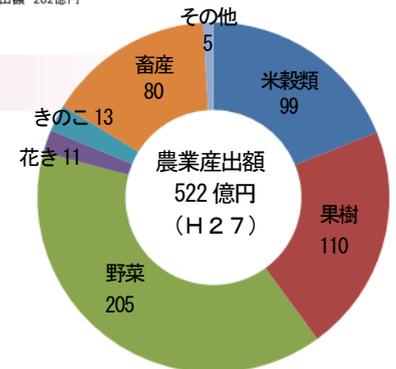
- 地域の農業を牽引する中核的経営体が、整備・集積された基盤をフルに活用して、効率的で生産性の高い営農を展開するとともに、次代を担う若手農業者が育っています。
- 地域の立地条件や風土を活かし、安全・安心で環境にやさしい農業技術を基礎として、ICTや機械化体系の新たな技術の積極的な導入等により、個性豊かで信頼され期待される総合供給産地として発展しています。
- 「おいしい信州ふど（風土）」を始めとする地域特産の農畜水産物について、その魅力が広く発信されて多様な取引が行われるとともに、6次産業化がビジネス展開されています。

II 消費者が求める「食」の振興（仮）

- 当地域の特徴を活かした農畜水産物・加工品が県内外に供給されるとともに、食材の魅力に加え地域の魅力が多方面に発信されています。
- 地域内のホテルや旅館、飲食店などで、特産の食材を活用した食事が提供され、豊かな自然や上高地などの景勝地とともに、地域の魅力として享受されています。
- 学校や地域における食農教育の展開により、地域の食材のおいしさや「食と農」の大切さが理解されるとともに、健康的でバランスの良い食事が取られています。

III 暮らしの場としての農村の振興（仮）

- 中山間地域などにおいて、多様な担い手や集落営農組織等が地域の特色を活かして、観光などとの連携により、活力ある農業や農村生活が営まれています。
- 農業者と地域住民など地域ぐるみの協働により、魅力ある農村の景観や多面的機能が、農村コミュニティとともに大切に維持されています。
- 農地・農業用施設災害や鳥獣被害がなく、暮らしと農業生産が安心して行われています。



施策の展開方向

I 産業としての農業の振興（仮）

重点取組 1 担い手の確保と地域の中核となる農業者の育成（仮）

当地域は、米を始め野菜類、果樹類や畜産物などの農畜産物総合供給産地としての地位を確立していますが、農業者の高齢化等による生産力の低下が課題となっています。

そのため、新たな担い手の確保と栽培技術・経営技術の習得支援、集落営農組織の育成・経営安定とともに、地域農業の牽引役となる中核的経営体の育成や経営の法人化を進めます。また、大規模経営や農繁期の作業に必要な労働力確保に向け、有効な方策について、関係機関団体と連携して研究・検討を進めます。

達成指標

現状 (H28)

目標 (H34)

(検討中)

施策の展開方向

- 市村や JA 等と連携とした新規就農者の確保育成と地域への定着支援
- 人・農地プランの推進を通じた中核的経営体の確保育成の推進
(中核的経営体：認定農業者、集落営農組織等)
- 地域農業を牽引する集落営農組織及び大型個人経営の法人化と経営を支援
- 大規模経営体や農繁期を支える労働力の確保方策の研究・検討の推進

重点取組 2 農地や水路など農業基盤の維持整備と農地利用の集積・集約

農地の区画整理や水利施設の整備が進んでいるものの、規模拡大や高収益作物への転換等一層の競争力強化に向け、基盤整備や水田の汎用化を進めるほか、老朽化した水路の更新などを計画的に推進します。

また、農業経営の大型化や効率化のためには農地の集積とともに、できるだけ集約化することが重要であるため、人・農地プランの推進と合わせて、農地中間管理事業など流動化の制度を活用して担い手への農地の集積と集約化を促進します。

達成指標

現状 (H28)

目標 (H34)

(検討中)

施策の展開方向

- 農地集積や営農効率を高める農地の基盤整備や水田の汎用化を推進
- 老朽化が著しい水路やかんがい施設の更新により水管理の省力化を推進
- 人・農地プランの実現のための農地中間管理事業等による農地の集積・集約の促進
- 遊休農地の発生防止と解消農地の有効活用の推進

重点取組 3

実需者が求める農畜産物生産地の確立

県内屈指の農業地帯で、鮮度の高い農畜水産物を全国に向けて供給する責任産地として、また、ニーズの高い県オリジナル品種等を生産するブランド力の高い産地として、引き続き維持発展を図ります。

さらに、生産性向上や省力化が図られる新しい技術の積極的な導入を進めるとともに、環境保全や経営改善を目指してGAP等への取り組みを推進します。

達成指標

現状 (H28)

目標 (H34)

(検討中)

施策の展開方向

【全般】

- ICTや機械収穫など新技術の導入検討と普及
- エコファーマー認定や信州の環境にやさしい農産物認証等の取組みの促進
- 農畜産物の安全・安心や経営効率化のための生産工程管理の適正化を推進
(生産工程管理：HACCP、GAP、カイゼン手法)
- 「おいしい信州ふード(風土)」の取組等による農畜水産物の魅力向上と販路拡大
- 意欲ある農業者等による6次産業化への取組みの支援

【米穀類及び水田活用】

- コシヒカリ等米の品質向上対策の推進
- 需要に見合う米生産と労力に見合う転作作物の導入による水田の有効活用の推進
- 風さやか、ひすいそば、ホワイトファイバー等県育成品種の生産拡大と品質向上支援

【果樹】

- りんご新わい化(高密植)栽培とオリジナル品種の拡大支援
- 消費者ニーズの高いぶどう品種やワイン専用品種の品質向上と生産拡大支援
- 改植と組み合せた樹園地継承による園地と産地の若返り支援

【野菜・花き】

- 夏秋いちごや玉ねぎ等、マーケットから求められる品目・品種の拡大や導入を支援
- レタス、すいか、ながいも等の地域ブランド品目の生産安定と販路拡大支援
- ブライダル需要等ニーズに対応した花き生産の作柄安定と品質向上支援

【畜産】

- 足腰の強い畜産経営のための自給飼料の増産推進
- 法人化を目指す意欲ある経営体への規模拡大支援

II 消費者が求める「食」の振興（仮）

重点取組 4 地消地産と食育活動の推進

地域の消費者と観光客からニーズの高い、地域で採れる新鮮で特色ある農畜水産物やその加工品について、一層の販売促進や情報発信の強化に取り組むとともに、ホテル・旅館・飲食店等での食事メニューへの活用など地消地産を推進します。

また、子供の頃から「食や農」への関心が大切であるため、大人も含めて良好な食生活の習慣付けや農作業体験の実施について、継続的な取組を進めます。

達成指標

現状 (H28)

目標 (H34)

(検討中)

施策の展開方向

- 農産物直売所等の品揃えの充実など魅力アップと地域食材に係る情報発信の強化
- 旅館・ホテルや料理店の団体等と連携した食材の地消地産の推進
- 学校や給食センター等との連携による学校給食での地域食材の活用と食育の推進
- 食農教育や農業体験等を行うグループの育成と活動支援

III 暮らしの場としての農村の振興（仮）

重点取組 5 農山村の活性化と農村機能の維持

当地域の、農山村の豊かな風土や農業生産の維持継承のため、地域の実情にあった担い手の確保育成や農産物生産の推進、直接支払制度等を活用した体制の維持と活性化、自然エネルギーの活用を支援します。

また、防災機能の強化や有害鳥獣による被害を減らすことも農業生産を継続するためには重要であり、有効な対策を講じていきます。

達成指標

現状 (H28)

目標 (H34)

(検討中)

施策の展開方向

- 多様な担い手の誘致・定着や集落営農組織の設立と運営を支援
- 観光等と連携した伝統野菜等地域の特色を活かした農産物の生産販売の促進
- 中山間地域等直接支払事業を活用した農業生産活動維持の支援
- 多面的機能支払事業を通じた用水路等の維持と農村コミュニティ活性化等の支援
- ため池の耐震補強・地すべり対策を実施し、安全安心な農村生活環境を維持
- 野生鳥獣による被害軽減のための地域ぐるみでの取り組みを促進
- 小水力など再生可能エネルギーの有効活用を支援